

仙台青年

SENDAI YMCA NEWS



今月から順次

野外活動・キャンプ受付再開

日本YMCA同盟を始め、東京YMCAやボリスカウトなど、青少年教育に関わる5団体が、新型コロナウイルスの影響により青少年の健全な成長のための機会が失われているとして、共同声明を発表しました(第2面に一部抜粋を掲載)。

仙台YMCAでも青少年(子どもたちやユースボランティアリーダー)にとって、自然の中で過ごす体験や学びの機会を6月から再開しております。

毎月実施する登録制の定例野外活動は、アドベンチャーキッズは年少〜年長、アドベンチャージュニアは小学1年〜4年、アドベンチャークラブは小学5年〜中学3年までが対象となります。短縮された子どもたちの夏休み中も、宿泊キャンプを実施いたします。3密を避けるためプログラム内容を工夫しながら、青少年の健全な成長の機会を提供していきます。定例野外活動への体験参加は随時受け付けております。夏季キャンプは6月下旬から受付開始予定です。

どんなときも、YMCAのキャンプ(野外活動)は、子どもたちの生きる力を育みます。多くの子どもたちがこの夏のキャンプ、そして野外活動に参加し、リーダーたちとともに子どもたちの成長に関われることを楽しみにしております。

報告・健康教育事業部 黒田敦

自然体験で学び、育つ



仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわが東北の地に広げるための活動を行います。

共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。
喜びのある生き方をすすめます。
私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおし、共に成長できる生き方をすすめます。
世界平和の実現に努めます。
私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。
ボランティアの働きを地域社会に広がります。
私たちは、人と人とのかかわりを豊かに育み、隣人に仕えあう喜びの輪を広げます。
子どもたちの生きる力を育てます。
私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。

ー 共同声明より抜粋 ー

～ 新型コロナウイルスの世界的感染拡大の中、我が国でも深刻な状況が続いており、一日も早い感染拡大の収束が望まれています。これまでに国内では緊急事態宣言が政府から出され、不要不急の外出を控える「ステイホーム」を行ってきました。現在、緊急事態宣言は解除されたものの、多くの国民がそれまでの生活習慣を一変せざるを得ない状況は続いています。

この環境下で青少年の活動はオンライン等を通じての体験以外、人と人が接する活動の機会は消失し、さらには不要不急での外出を控える中、自然の中で過ごす体験や学びの機会が失われています。私たちは、青少年の健全な心身の成長には、自然体験における、人と人、人と生き物、人と自然といった他者とのつながりの中で生まれ、培われるものが大変重要であると考えています。オンライン教育だけでは代替できない五感を使った学び・体験の機会を決して無くしてはならないと強く感じています。これらの体験の積み重ねは青少年育成の礎となり、現在の状況下においては、人間性の回復への取り組みともいえます。また、新型コロナウイルスへの不安や恐怖が人々の心や社会にもたらす、「嫌悪・差別・偏見」の感染に強い危機感を感じ、困窮する家庭、命の危険性を含め、人や家庭、社会の分断を防ぐ活動が必要であるとも考えます。世界的ネットワークを持つ青少年教育に関わる5団体では、新型コロナウイルスの影響により、日本国内での青少年の健全な成長のための諸活動が失われている現状を危惧し、共同声明として発表することとしました。～



YMCAと私

YMCA加茂保育園

「あっという間の12年」

ひかり組 鎌田雅基 くんのお母様 / 鎌田 はるか さん

加茂保育園には、長男が2008年に入園してから、長女、次男も含め、合計12年、朝から晩までずーっとお世話になっています。長男の入園当初は、泣き叫ぶ我が子を預けて働くことへの罪悪感や、仕事と育児の両立の難しさから、私自身もずいぶんナーバスになっていたと思います。しかし、保育園の方々の優しさ、あたたかさにより、子どもたちが、休日でも「保育園に行きたい。」と言うようになり、とても安堵しました。私がくじけずに仕事を続けられたこと、子どもたちがのびのびとたくましく成長できたことは、本当に保育園のおかげだと感謝しております。

子どもたちに保育園の良さを聞くと、3人とも「食事がおいしいところ！」と答えます。特に長男は、卒園して6年経っても保育園の食事が食べたいといっています。卒園した2人は、次男の保育園のイベントの時に食べることが出来るカレーや豚汁をととても楽しみにしており、何度もおかわりをしています。保育園でお友だちや保育士の方たちとわいわいしながらおいしい食事を楽しむ、そのような思い出に残る時間を与えていただいて、本当にありがとうございます。

12年というと長く感じますが、子どもたちと共に楽しんだあっという間の時間だったと感じています。残り少ない保育園生活ですが、子どもだけでなく親の私も楽しんで過ごしたいと思います。

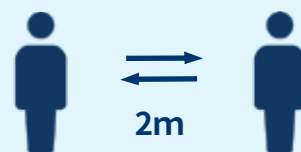


YMCA加茂保育園
ひかり組 / 鎌田 雅基 くん (写真中央)



集まらない

KEEP
DISTANCE
自分とみんなの安全のために



距離をとる

～ 地域の風景や伝統工芸とともに美味しいコーヒーを！ ～

石巻広域ワイズメンズクラブ会長 石川光晴 さん



今年度 4代目クラブ会長を務めております石川光晴と申します。東日本大震災から 10年目に入りましたが、『珈琲工房いしかわ』では震災で製造が中止になってしまった“かきあめ”を 2018年末に復活させました。それ以降、昔の石巻を忘れないための活動を続けています。

中でも 1985年に撮影した写真を使った「石巻の香り」シリーズは、地域からの反響をたくさん頂いています。このシリーズの箱に使っている写真は津波で特に被害の大きかった地区の 35年前を写したもので、中のコーヒーも全て石巻の懐かしい景色の水彩画です。これからも地域の懐かしい景色を忘れないような活動を続けていきたいと考えています。

また、景色だけでなく地域の伝統工芸品である「松川だるま」もパッケージに使わせて頂いています。松川だるまとは天保年間に伊達藩の藩士である松川豊之進が創始し、その弟子として本郷だるま屋の初代本郷久三郎が作り始め、現在 10代目の久孝・尚子夫妻がそれを継承しています。後で知った事ですが、10代目の姪御さんがYMCA児童クラブの職員と分かりびっくりしました。ご夫妻に許可をいただき、プロの写真家に撮ってもらった写真を前面に押し出したパッケージにしました。海のような青で彩られ、宝船に乗っているようなデザインが特徴です。縁起物ということもあり、招き猫をあしらったコーヒーと共に人気になっています。これからも美味しいコーヒーを届けるだけでなく、心に残るパッケージを作っていきたいと考えています。それによって、少しでも地域に興味を持ってくれる方が増えてくれたら嬉しく思います。



大学で先輩リーダーに仙台YMCAを紹介していただき、あまり関わる機会のない子供たちと関わりたいと思い、ボランティアを始めました。現在は富沢児童館で地球探検隊や児童館まつりのボランティアをしています。

幼い頃、体を動かすことが苦手で周りの人と自分を比べて「自分はみんなみたいにできない」と落ち込んだことがありましたが、一緒に活動していたボランティアのお兄さんお姉さんにできるまで優しく教えてもらったことで挫けずに頑張れたという思い出があります。大学生になり、今度は自分が体験してきたように、活動を通して思い出作りや成長していくサポートしていきたいと思ったことがこのボランティアを始めたきっかけの1つでもあります。活動していく中で、公共の場でのルールや交通量の多い道路を歩いたり火を扱ったりどうしても危険が伴う時、自分の頭の中では分かっているけど子供たちに理解してもらえるにはどう言葉を変えて伝えたらいいのか、どうしたらより楽しんでもらえるか悩み、ぎこちなくなってしまうことがあります。しかし、児童館のリーダーからの助言や行動から多くのことを学ばせていただいているおかげで徐々に関わり方もいい方向に変わりつつあります。

「自分はできない」という挫折感を味わったからこそ分かる挫けそうな子の気持ちに寄り添うことや、自分も純粋に楽しむことを心掛けて活動しています。仙台YMCAでボランティアをさせていただいてから今年で3年目になります。今年は新型コロナウイルスの影響もあり思うように活動できていませんが、今年もたくさん活動していきたいと思っています。またみんなに会える時を楽しみにしています！

Volunteer Volunteer Volunteer



富沢児童館
ボランティアリーダー
東北福祉大学 3年 / 村上 礼佳 さん

こころのつないで

1. いきたいな あいたいな
あのぼしょで あのひとと
あそびたい わらいたい
ただいっしょにいただけ

さくらのき 「おはよう」と
まいにちくぐった あのもんも
そのさきに いつもある
あたたかい ぼくらのいばしょ

げたばこや きょうしつや
えんていや かだんのはなも
おぼえてる おぼえてる
せんせいの てのぬくもりも

いつかまた いつかまた
かならずあえるから
いまはきみと みえないてを
つないですごしましょ
みえないこころのつないで

2. すなあそび おにごっこ
はないちもんめに かくれんぼ
おままごと たたかいあそび
ブロック むりえ おりがみもね

おべんとう おとうぼん
うんどうあそびに あのプール
たべようかい おたんじょうかい
みんなでさんびか めをとじて

ねえよんで このえほん
せんせいのこえで ききたいな
おぼえてる おぼえてる
キラキラの ちいさなひとみ

きみも わたしも
あなたも あのひとも
せんせいも おともだちも
みんな なかまなんだ
あえなくても つながっているよ

おもいっきり はしったり
おおごえで わらったり
せんせいに わがままもいおう
おともだちのなまえ わすれたりしないよ
みんなと あいたいな

あいたいと いきたいと
おもう あなたの そのきもちが
てんにとどけば きつとね
えがおで あえるよ

いつかまた いつかまた
かならずあえるから
いまはきみと みえないてを
つないで すごしましょ
みえないこころのつないで

この「こころのつないで」は、コロナウィルス感染拡大防止のため、登園の自粛をお願いしていた間に、仙台YMCA幼稚園がアプリを利用して園児や保護者の皆様にアンケートを実施し、そこに寄せられた言葉の数々を紡いで作られた歌です。メロディもついています。園児のお母様が詞も曲も作ってくださったそうです！

6月1日からようやく全園児の登園が再開されました。この歌の詞にもあるように、3ヶ月間ずっと会いたかった友だちや先生とまた一緒に過ごせる時間を思い切り楽しんでる園児たちの声が、いま、仙台YMCAに響いています。



報告：本部事務局 / 松島 晃子

2020年度 仙台YMCA大会

2020年 6月27日(土)

午後2時～午後3時30分 第1部：開会礼拝 午後2時～午後2時30分
会場：仙台YMCA立町会館 / 4F ホール 第2部：会員総会 午後2時35分～午後3時30分

維持会費

(5月1日～5月31日)

皆様のお支えに、心より感謝申し上げます

◆一般会員

・維持会員

A会員/10,000円、B会員/20,000円、C会員/30,000円

A会員 小林 正一 さん 平野 邦夫 さん

佐藤 悦子 さん

一般会員・サポート会員を 随時募集中です

ぜひ会員として、
仙台YMCAの活動をお支えください

お問い合わせ：本部事務局

TEL:022-222-7634

FAX:022-222-2952